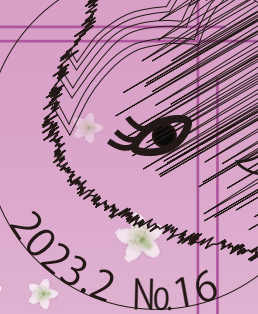


どきどき通信 No.16

Kikugawa City

令和5年2月発行



菊川市

身近に歴史を体感

小笠東地区 イラストマップ

小笠東地区は、弥生時代から大きく発展した地域で、古くから発掘調査が行われています。また、“塩の道”や常夜灯などの歴史遺産が、現在でも数多く残っています。

菊川市内では約400か所の遺跡が静かに眠っています。遺跡はとても身近な場所にある文化財なのです。

今回は、小笠東小学校区内で発掘調査が行われた主な遺跡についてご案内します。



嶺田遺跡

弥生時代中期の遺跡で、大胆な文様と鮮やかな赤色が特徴の土器が出土しています。



ミネダちゃん



舟久保古墳

5世紀前半頃に築かれた全長約49mの前方後円墳で、静岡県指定史跡となっています。

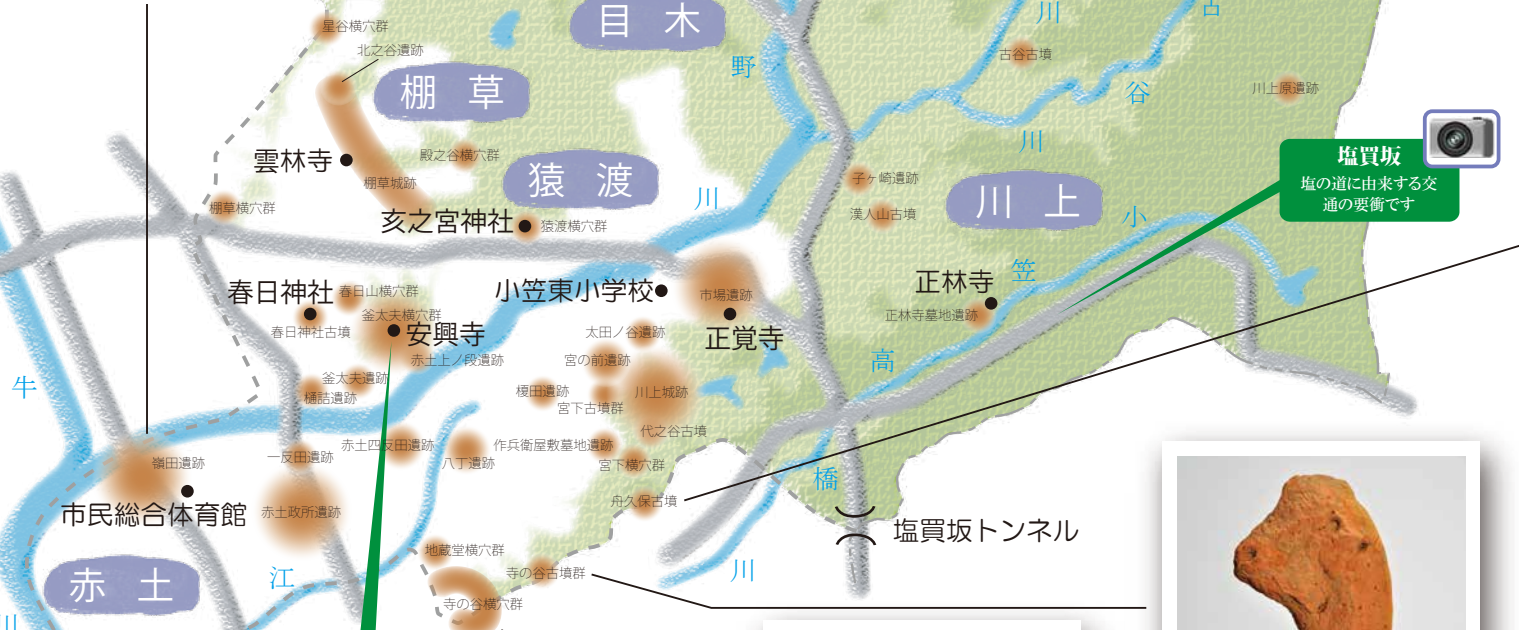
塩買坂

塩の道に由来する交通の要衝です



寺の谷古墳群

主に古墳時代中期頃に古墳が築かれ、ハニワが多く出土しており、鳥形のハニワも見られます。



安興寺

境内にある六角堂は必見です

寺の谷横穴群

古墳時代後期以降、横穴墓が密集して築かれ続け、“五丁横穴群”なども含まれます。

最新の情報はこちら!

